

それは、8月25日のことだった。野田中学校に、あの室屋義秀さんが来てくださった。福島市の「ドリームチャレンジ事業講演会」の講師としてである。日本を代表するエアレースパイロットであり、福島市を拠点として活動している方である。

10月28日には、2回目の「ドリームチャレンジ事業講演会」があった。講師は、「R u u」さんである。最初は、全くどなたなのかわからなかった。世界的なダンサーなのだと教えられた。それでもピンとこない。

仕方なく、調べてみた。すると、福島市のダンス・スタジオ・V i V i d (ビビッド)の方だとわかった。それならば、少なからず知っている。なぜなら、そのスタジオのすぐ隣には洋服の〇〇があり、よく行くからである。そのスタジオには県外からも、多くの生徒さんが通っていることも知っていた。

R u uさんの経歴を調べてみた。すごかった。福島市の出身で、2歳からダンスを始め、高校1年生のときに、全国優勝を果たしている。その後も、数々のコンテストでタイトルを取り続けている。2016年には、ロサンゼルスで開催されたダンス世界大会「World of Dance」において、日本人として初優勝を飾った。翌年には、2連覇を成し遂げている。現在では、AKB48、HKT48などの振り付けも担当している。

俄然、R u uさんにお会いしたくなってきた。当日が待ち遠しくなってきた。その日が近づくと、野田中学校にR u uさんの高校時代の同級生がおり、仲が良いとの情報をキャッチした。これも何かの縁である。

その日がやってきた。R u uさんは、マネージャーであるお母様と真っ赤な車でやってきた。表情が明るい。輝くほどである。話してみると、次から次へと話が弾んだ。どうやら、中学生の前で話すことに不安を覚えているようであった。私は「うちの生徒は大丈夫だと思いますよ」と伝えておいた。

体育館で講演が始まった。話の内容もいいが、生徒たちはR u uさんのダンスの動画に衝撃を受けたようであった。世界一になったダンスである。まるで違う。私の予想通りに、生徒の反応もよく、R u uさんには満足していただけたようであった。

R u uさんの同級生であるY先生に、私が「表情が違うよね。明るいよね」というと、Y先生いわく「超ポジティブなんです。前向きなんです」とのことだった。そこで私は、Y先生に「我々も、あんな表情をしていたら、不登校にはならないのにね」とつぶやいた。私は、まじめにそう思う。

学校の先生も、R u uさんほどではないにしろ、もう少し笑顔になれないものだろうか。特に中学校である。毎日、いろいろなことがある。つらく落ち込むことも多い。それはR u uさんとて同じであろう。

以前務めた梁川高校には、生徒の前では、いつも笑顔の先生がいた。本当は、人一倍、悩み、苦しみ、つらい日々が多いのにである。あの先生の笑顔に救われた生徒は多いはずである。

野田中学校も、まずは校長が笑顔にならなくてはと思う。せめて、つくり笑顔から始めよう。それにしても、R u uさんの笑顔はすごかった。内面からにじみ出る笑顔だった。

先日、たまたま洋服の〇〇に行ったところ、ダンス・スタジオ・V i V i d (ビビッド)の前に、あの真っ赤な車が止まっていた。また、あの笑顔が蘇ってきた。